



第1202号
2011年4月3日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇4月の代禱・信施奉献先
▽エルサレム教区のため(受苦日4・22)▽国際こども学校の働きのため▽在日外国人人権問題のため▽エリザベスサンダーズホームのため▽月島聖ルカ保育園のため

▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食説明会 10日(日) 17時、同教会で5月以降の活動について。

▽東北地方太平洋沖地震支援チャリティコンサート「音楽のさざげもの」 3日(本日) 17時、聖パウロ教会。演奏||佐藤礼子(Or)・萩原潤(Br)。入場料||千円以上。みどりが丘ふくしかん主催、同教会共催。照会||03(5726) 3205・同ふくしかん。

▽4月聖路加国際病院礼拝堂

今週・来週の予定
4月3日~16日

- 3(日) 大斎節第4主日 主教巡回 真光教会 (牧師任命式)
- 4(月) 分担金特別委
- 7(木) 教財務サービス委員会
- 8(金) エルサレム教区協働委員会
- 10(日) 大斎節第5主日 主教巡回 聖救主教会 (牧師任命式)
- 11(月) 貧困問題P 信仰と生活: 子ども聖歌
- 12(火) 銀座朝拝会
- 13(水) 聖職養成委員会 教役者幹事会
- 14(木) エルサレム協働: 女性部会 財政委員会 信仰と生活委員会

《夕の祈り》 6日(水) 18時半、オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者||浅井寛子、松堂久美恵(ピアノ)。入場無料(会場献金)。
▽4月ランチタイム・オルガンコンサート *聖パウロ||8日(金)、原田靖子 *聖テモテ||19日(火)、中村文栄 *神田キリスト||20日(水)、宇内千晴 各々12時20分から30分程度、
*第115(定期) 教区会開演 説特別号を本日発行(広報委員会)
3月15日 望月 重威(75) 聖ガブリエル
▽テゼの祈り―震災の被災者を覚えながら―8日(金) 19時、幼きイエス会・ニコラバレ修道院聖堂(四谷駅前)。照会||03(3261) 0825・同院。
◆とこしえの平安

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

教役者として記事を頼まれ、「神様の働きや存在を感じた場面を書いていただけませんか」と求められる時、まず「なるほど、いい質問」だと思えます。そしてその次に、「むしろ信徒に聞くべきでは？」とも思えます。「やはり、教会では教役者より信徒の数がはるかに多いし、どちらも神の働きをするように召されている。信徒たちに公平に分かち合う時間を与えたい」。いずれにせよ、信者が強められるために、神が私の生活においてどのような働きをなさっているのか、喜んで分かち合いたいと思えます。

目に留まる神の恵み

司祭 スコット・ウォーカー

先週、米国聖公会のアルバーニ教区から主教の大斎節書簡が送られてきましたが、毎日の聖書朗読が推奨されていました。「あらゆる霊的な実践や行いの確たる基礎

は聖書の言葉そのものにある」と述べられていました。自分の人生を省みると、これは全くその通りです。聖書を読み、学ぶだけ、人生において神様のみ業が明らかになっています。

今、神様がこの教会に求めていることがあるとき、信徒のうちにそれをマツチする霊的な賜物や才能を備えた方々が現れます。ついこの間、教会のために大斎節のフロンタルなど一式を献呈した信徒たちがいましたが、これは神に仕えたいという数人の気持ちの主が受け止め、昔の5つのパンと2匹の魚のように最初の発想をはるかに超えるものとしてくださいました。皆様もみこしばを味わい、「小さな」奉仕をする中で神様の恵みを大いに受けましょう。

(聖オルバン教会牧師)

正義と平和協議会

運営委員会報告(3月22日)

* 宣教主事報告 ①管区に東北地方太平洋沖地震・日本聖公会対策本部が設置された。②東北教区から東京教区に対し、物資支援の要望があった。③東北地方太平洋沖地震被災地への支援復興募金として3億円を奉献することを教区会で審議し決めた。

* 会員の「一羊会」による講演会活動への支援金の要請に基づき、正平協の支援を決定した。

* その他

▽「聖公会東京311ボランティアチーム」活動開始 足立区の東京武道館に、今回の大震災で被災した方々が避難されている。浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動、野宿生活者支援活動・渋谷のメンバ

ーなどが中心となり、取りあえず出来ることから、温かい炊き込みご飯3百食の炊き出しを始めた。お米・お米券・作業手伝いなどの協力を呼びかけている(次号に詳細)。

【大斎節公開プログラム】6

主日の場合は午後開催を掲載

▽聖マーガレット教会Ⅱ「祈りとともに学ぶ『裸足の宣教』」

10日以降の各主日13時15分 ⑤子どもとともに歩む十字架の道行き

⑥祈りを深めるために「祈り

それは慰めと力の源——畑野研太郎(ハンセン病専門医)。照会は同教会。

▽聖方ブリエル教会Ⅱ「共につくる教会共同体」10日(日)13時。末留英夫牧師(日本キリスト教団)。照会は同教会。

《今、この教会では…》

聖救主教会

当教会には現在、牧師館がありません。

約10年前、教会を地域に仕える施設「まこと地域総合センター」に建て替える際、最後に残ったスペースを「牧師館にするか、幼稚園にするか？」大激論の末、幼稚園を選んだのです。

その結果、今では当施設に入りする方は1日あたり約5百人、宣教委員会のイベントには百人を超える方々が参加されるようになりました。

資金等のハードルは高いですが、今こそ神様のお導きの時！一致団結して10年前の「牧師館取得への想い」を実現したいと思います。(大西新吾)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】79

3月23・24日緊急支援に感謝

先週22日に管区並びに東北教区災害対策本部からの要請で、各教会・礼拝堂に協力をお願いしたところ、急であつたにもかかわらず、多くの方々が多種多量の物資を聖アンデレ教会に届けて下さり、また仕分けの作業に駆けつけてくださいました。東京教区側の受付体制が十分整っていない中で、の発信であつたため、皆様に無理を強いたり、善意を十分生かし切れなかった点が多々あつた事をお詫びすると共に、皆様の熱い思いと行動に心から敬意と感謝の念を表します。

24日朝、小名浜に向け緊急車両2台が、さらに同日午後、緊急手配した2トントラックが皆様の善

意の物資を満載して、小名浜聖アモテ教会と東北教区対策本部(仙台)に向け出発、無事現地で物資をお渡ししました。これらの支援物資は、大きな団体や自治体の手が届かない所に送られています。

なお今後も支援活動は物資搬送、人的派遣、募金など多岐に渡って長期的に継続されます。

そこで常置委員会のもとに東京教区支援対策本部(仮称)を設置し、東京教区の対応を行って

いくこととなりました。支援対策本部長として後藤務さん(財政委員長、東京聖三一教会)、副部長として片岡大造さん(聖アンデレ教会)、八幡眞也さん

(管区渉外主事、東京聖三一教会)、黒澤圭子さん(常置委員、東京聖テモテ教会)がそれ

ぞれ任命されました。また活動別にその他の方々にもご協力いただくこととなります。また本部室を教区に開設し、支援物資補給、人的派遣、募金活動などの支援活動を効果的に行っていきます。対策本部の詳細や皆様への支援のお願いにつきましては、その都度お知らせいたします。今後とも引き続き、皆様の変わらぬご支援とお祈りをお願いいたします。

* 支援対策本部内支援物資補給部に電話を設置しました。支援物資は教会や学校毎にまとめて品別にお送りください。送り先や受付時間などのお問い合わせはこちらまで。090

(1264) 7353(担当者Ⅱ吉松英美、松平謙次、松田正人)。

常置委員長 司祭 笹森 田鶴